

平成30年度 第3回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	平成31年2月5日（火）午後1時30分から
開催場所	健康文化センター 1階 機能回復訓練室
出席者名	議会議員代表 3名 民生委員・児童委員代表 3名 私立保育園法人代表 1名 保護者代表 6名 事務局 10名
次 第	1 委員長挨拶 2 協議事項 (1) 平成30年度保育所運営の報告について (ア) 全体報告 (イ) 各園活動報告（資料1—①, ②, ③, ④） (ウ) 父母の会活動報告（資料2—①, ②, ③, ④） (2) 平成31年度の保育所運営について ア 大口町立西保育園の増改築について（資料No.3） イ 平成31年度保育園入園申込状況について（資料No.4） ウ 年間事業計画について「ことしのあゆみ」（資料No.5） (3) 大口中保育園民営化達成状況について（資料No.6） 3 その他

（進行：福祉こども課長）

委員長	1 委員長挨拶
-----	---------

（進行：委員長）

保育長	(1) 平成30年度保育所運営の報告について ア 各園の報告 (ア) 全体報告 ・平成30年4月、保育所保育指針の改訂と共に、認定こども園、幼稚園とのトリプル改訂となっている。改訂では「幼児教育において育みたい資質、能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「幼保小の接続の重視」3つ
-----	--

南保育園長	<p>のポイントがあげられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を思い浮かべながら、保育の中で主体的で対話的、深い学びができるように遊びを進めてきた。 ・ 今年度、生活発表会の取り組みの見直しを行ってきた。子どもたちが中心のかつ総合的に取り組めるよう、保育を展開してきている。 ・ 木育の MOTTAINAI 工房という遊びの中でも、主体的で対話的、深い学びができるようにと取り組んでいる。 ・ 未満児保育の重要性も今まで以上にはっきりと打ち出され、大口町の保育園でも重点的に取り組んだ。大学の講師を招き、子どもたちの実態と保育環境、保育内容について実地指導を受けながら保育内容の向上を図っている。安全に経験できる環境づくりや保育士の動きを工夫することにより遊び体験を増やして、できることが増え、満足感につながり、子どもたちの成長をさらに促していけるように努めている。 ・ 一人一人を見つめ子どもがやりたい遊びをたっぷり遊び込める、心が満たされるように子どもたちの心に寄り添った保育、保育士主導型から子どもたちの主体的な遊びに切り替えているところ。 ・ 求められる保育は大変奥深く、幅広くなってきている。保護者と思いを共有しながら、これからも保育展開を行っていききたい。 <p>(イ) 各園活動報告 (各園長)</p> <p><南保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「思いやり・優しさ・社会性」が身に付くことができるよう「郷土を愛する心を育む」「人や物を大切にすることを育む」「地域の人との関わりを深める」活動に取り組んできた。 ・ 「郷土を愛する心を育む活動」を通して、自分たちの町のことを知り、愛着をもって成長し、郷土愛の芽を育ていこうと保育目標を掲げ、「裁断橋物語」や「長松寺の汗かき地蔵」について学び、実際に現地にも行った。今年は、年中児祖父母交流会でも「裁断橋物語」や「堀江吉晴や松江城」について祖父母と一緒に学んだ。 ・ 地域の方と一緒に「MOTTAINAI 工房」を行った。作品は、園舎東側の道路側フェンスに掲示して感想ノートを置き、地域の方にも保育園の取り組みを見ていただいている。 ・ 様々な自然災害に対しての危機管理が問われる中、交流のある「秋田さわやかクラブ」の方々に協力をお願いし、園内で行っている避難訓練に参加していただいた。地震・火災の避難方法について話を聞いた後、第1避難場所から第2避難場所、地域の避難場所である南小学校正門まで一緒に避難した。
-------	--

西保育園長

0、1歳児の子どもを避難車や乳母車に乗せ、2、3歳児の子と手を繋いで南小学校まで避難するのは保育士だけの力では心もとない所もある為、今後も力を貸していただけるようお願いできればと考えている。

<西保育園>

- ・「身近な自然に触れながら木を知る」を目標とし、白山ふれあいの森の7本の木（ヒノキ・クロガネモチ・マテバシイ・ヤマモモ・シダレザクラ・クスノキ・シラカシ）の観察を継続し、「木に触れる」「木で遊ぶ」の活動の中で「木は生きている」「木には命がある」「物を大切にする」という気持ちを大事に取り組んできた。
- ・遠足で出掛けた21世紀創造の森では、ヒノキの伐採を見学し、ヒノキの感触や香りを楽しんだ後、丸太運び体験をした。ヒノキをやすりがけしてキーホルダー作りや丸太を使った製作を楽しみ、根気ややる気にもつながった。
- ・親子マイ箸づくりでは、木の伐採や命の移しかえについて学び、木育への興味関心を深めた。箸のシラカシの木は、白山ふれあいの森で観察を続けている木でもあるため、子ども達もより身近なものとして、暮らしの中の木とのつながりを知ることができた。いくつもの工程を経て出来上がった大切な箸は、給食で丁寧に使い、物を大切にする心が育っている。
- ・年齢ごとの木育実践活動を通して、豊かな自然によって育まれる命の素晴らしさを知り、愛おしさを感じ、助け合うことや感謝する気持ちが育った。また、新しい発見や驚きで、子ども達の主体的な遊びへと発展し、保育士と子どもとの対話も増えた。
- ・体力づくりで年長児は逆上がりを目指し、4月から繰り返し取り組むことで、腕の力が付き、6割の子どもたちが逆上がりをできるようになった。
- ・年中児は、固定遊具を経験することで、体の使い方が上手になった。ボールをうまく投げられるようになり、円形ドッジボールを楽しんでいる。
- ・年少児は築山登りに繰り返し挑戦することで、手をついて登っていた子どももバランスをうまくとりながら手をつかずに登れるようになってきた。
- ・未満児は各年齢に合ったサーキット遊びを繰り返し行い、両足ジャンプ、平均台渡りができるようになった。バランス、手のつき方、足の運び等のポイントを踏まえ援助することで体力づくりにつながることを感じている。
- ・食育の一環として季節の野菜作りをしながら、世代間交流を楽しむことを目的に進めた。苗植えから収穫までの過程を経験し、わらべうた遊びやけん玉遊びなどの交流を楽しみ、子どもたちを地域の方々に知ってもらうことができた。

<p>北保育園長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応として地域の方に保育園での子どもたちの避難訓練の様子を知ってもらおうと、民生委員の方にも避難訓練に参加していただき、積極的に子どもたちの身を守っていただいた。 ・園での活動を子ども達から保護者、そして地域へと伝わるよう発信しながら、子ども達を真ん中においた町づくりを目指している。 <p><北保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在3歳以上児123名、未満児66名、全園児189名。木造園舎になり1年半、今年度の運動会はちょうど1年ということで「北保育園1歳のお誕生日おめでとう」をキャッチフレーズにお祝いのセレモニーをした。 ・特徴でもある芝生の運動場は遊具を設置していないが、移動式鉄棒や平均台、トンネル、サッカーゴールなど利用し、保育士が体力づくりのカリキュラムを実施し、子どもたちの健康増進に努めている。 ・一周150mの回廊も遊び場となっている。小さい子どもたちがリズム遊びをし、3歳以上児の回廊は「どんぐりカフェ」と名前がついており、時々みんなで給食を食べている。 ・防災意識向上と体力づくりを兼ねて、南側回廊でのバケツリレーを行っている。体を上手に使い不安定な水を運ぶこと、こぼさずやり切った達成感、友達を思いやる気持ち、みんなで雑巾をかけきれいに回廊をケアすることなど遊びにもいろいろな要素が含まれている。 ・昨年より行っている MOTTAINAI 工房を引き続き楽しんでいる。今年度は、「道具について知ろう」を新たな目標に加え、活動に取り入れた。遠足でのチェーンソーを使った木の伐採見学、保育士が電動丸鋸やのこぎりで木を切る様子を見たりする中で、子どもたちが道具に興味をもち、のこぎりで木を切る体験をした。刃の違い、扱い方、姿勢など大きな学習となった。切った木は祖父母と一緒にやすりがけをして、積み木に仕上げた。 ・木製玩具「カプラ」は、同じ大きさ、形の長方形の板を重ねたり並べたり、イメージしながら作品をつくることで、脳への刺激、手先の器用さ、集中力を養うことができる。友達と一緒に協力してつくることで協調性も育むことができる。子どもたちは大好きで、時間も忘れて一日がかりで大きな作品をつくりあげている。
<p>大口中保育園長</p>	<p><大口中保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口中保育園では主体的で対話的、深い学びができるように園の特色として、体力づくり、運動遊びに力を入れてきた。4月にヒューム管を使いトンネルとした人工芝の築山が完成した。未満児もしっかり足腰を踏ん張りな

がら登り、バランスよく滑るなど楽しんで遊んでいる。

- ・ 8月に完成した総合遊具は、子どもや保護者に名前を募集し「パオパオ」と名付けた。遊ぶだけで成長につながる5つの要素、身体的、社会的、知的、精神的、情緒面がバランスよく発達する遊具で、一人で楽しむ、友達と一緒に楽しむなど様々な遊び方ができる。
- ・ 可動式の鉄棒・雲梯・平均台を組み合わせたコーナーをつくった。
- ・ 毎朝の10分間のサーキット遊びを続けてきた成果がしっかりと出てきて子どもたちの自信につながっている。年長児では、連続逆上がりができる子が増え、年中児でも刺激を受けてできるようになった子が3名いる。
- ・ 週1回の雲梯大会、平均台大会、鉄棒大会で、運動が苦手な子どもでも自分ができるものに挑戦し、友達から拍手をもらい、友達を応援するなどの取り組みを続けてきた。
- ・ 今年度から、以上児は体操服を導入し、週1回体操服に着替え運動遊びを行っている。月1、2回程度、専門指導員により体操、運動、夏はプールの指導をしてもらっている。その他の週は、保育士が子どもの発達などを考慮した運動計画のもと、1歳児から5歳児までの発達の流れを把握し、幼児期に必要な様々な運動能力を十分引き出す体験をさせ、体力、反射神経、判断能力を育て、子どもたちの育ちを促している。
- ・ アドベンチャールームと名付けた室内運動が行える部屋をつくり、室内で過ごすことの多かった夏も、体を動かして遊ぶ活動も多く取り入れてきた。
- ・ 保護者からは、「風邪をひかなくなった」「体が丈夫になった」との意見もたくさんいただいた。
- ・ 年長児の祖父母交流でホットケーキをつくった。生地を焼いた後、いろいろなトッピングをして食べた。和やかな雰囲気でもできた。
- ・ 保育園で行ったデーキャンプでは、ウォークラリーやゲームを楽しみ、カレーライスづくりをした。
- ・ 城址の友の方と、野菜作りや季節のおやつクッキング、季節行事の交流を続けている。田植えや稲刈りの体験もさせてもらい、稲の生長や米の実りを身近に見ることができた。
- ・ 今後、年長児は和菓子作りに挑戦する。和菓子作りを通して日本の文化に触れ、和菓子の形や材料などにも興味をもつことができるようにと計画している。
- ・ 異年齢活動でお店屋さんごっこを始めた。年長児を中心に、空き箱や段ボール、様々な文房具などを使い商品やお金をつくり楽しんでる。
- ・ 正月遊びやけん玉の練習など日常の遊びの中でも異年齢の関わりが多くなってきた。子ども主体の活動を通して縦のつながりが強くなってきたと感

<p>南保育園 会長</p>	<p>じる。</p> <p>(ウ) 父母の会活動報告 (各園父母の会会長)</p> <p><南保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会3回 (ミスタードーナツ催し、森のつみ木広場オイスカ、ゆめぼけっと (人形劇)) を行った。 ・保護者による読み聞かせボランティア友ちゃんズは、6月～3月までの月2回、月曜・木曜に実施。今年は42名の保護者 (内、父親3名) の参加があった。
<p>西保育園 会長</p>	<p><西保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー、イベント2回 (祖父母交流会にてピアノコンサート、「食育」愛ちゃん隊) を行った。
<p>北保育園 会長</p>	<p><北保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント4回 (森のつみ木広場オイスカ、造形教室、ヤクルト教室、メリーゴーランドによる読み聞かせ) を行った。
<p>大口中保育園 会長</p>	<p><大口中保育園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント4回 (東海テレビすくすくぼん、「マンドリンアンサンブル四季」演奏会、ヤマト運輸交通安全教室、「かすがいウィメンズブラス」演奏会) を行った。 ・年3回の資源回収を行った。
<p>福祉子ども 課長</p>	<p>(2) 平成31年度保育所運営について</p> <p>ア 大口中立西保育園の増改築について</p> <p>【西保育園の増改築工事 (案) の概要】 図案についての補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の図案は作成中のため、完成イメージとしたもの。 ・南側駐車場の一部スペースも利用し、保育室 (1部屋約100㎡) を4部屋作り、現在の未満児室南側には、調理室を増設する。 ・防犯上、安全対策上含め、回廊を作るというイメージで進んでいる。
<p>保育長</p>	<p>イ 平成31年度保育園入園申込状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児508名定員のところ、459名の申込。3歳未満児207名定員のところ、241名の申込。

<p>委員</p> <p>福祉こども課長</p> <p>大口中保育園事務長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児保育のニーズが想像以上に増加した結果、31年度は待機児童が発生する状況になる。 <p>ウ 年間事業計画について「ことしのあゆみ」(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31年度の幼児向け交通安全スローガン「ちいさなて あげたらおおきなあかしんごう」を家庭でも合言葉に、交通安全に十分注意をしてほしい。 <p><31年度の変更事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月、3歳以上児保育参観と年少児試食会は南・北・大口中保育園は実施。西保育園は増改築に伴う工事に入るため、10月の運動会を5月25日(土)に変更する。(運動会実施場所の変更は園児の戸惑いや不安が大きいため、時期の変更で対応する。)それに伴い、西保育園3歳以上児保育参観と年少児試食会は5月から10月に変更となる。 ・6月、3歳以上児音楽会の午後に、全園児対象で地震を想定し、メール配信を行い、緊急時引き渡し訓練をする。 ・プール遊びはできるだけ多く遊びが経験できるように7月初めから実施。 ・秋の運動会 10月5日(土)南・北・大口中保育園の運動会を各保育園で行う。 <p><園生活の一日の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日保育(町立)・休日保育の実施園が工事の都合上、西保育園から北保育園に変更。 <p><増改築の説明について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西保育園の保護者へは、2月13日、14日の保育参観後説明をする。新入園児の保護者には、2月22日の新入園児健康診断時に、文書にてご理解をさせていただく。 <p>○事務局からの説明に対する、意見・質問等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、南保育園園舎も改修工事等の予定はあるか? <ul style="list-style-type: none"> ・南保育園園舎は築35年になるが、これまでの間に空調設備の工事、水回りなどの補修、グランド整備は行ってきている。建替えについてはまだ分からないが、順番に悪くなっていけば計画の中に入れていくので、いつとは言えないが考えてはいる。 <p>(3) 大口中保育園民営化達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、評価結果と意見、今後の方向性についての説明。
---	--

委員	<p>○確認、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的な評価は委員評価の平均ということで良いか？
福祉子ども課長	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。各委員評価の項目点数を平均化したものを評価とする。総合評価というイメージであれば、全体としてはB（達成度：80%以上～90%未満）という評価と了承いただけると有り難い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価はどのような方法で行っているか？
大口中保育園事務長	<ul style="list-style-type: none"> ・民営化になってから毎年、年度末に保護者アンケートを行い、結果に基づき職員で相談しながら評価をつけた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価というのは人を伸ばすために行うもの。全体に対し職員の自己評価が厳しいのは、より上を目指しているからだろう。そういう姿勢の保育園は必ず良くなると思う。 ・8項目中6項目が1ランク上の評価でも良いと思う。C評価であった「統合保育」については、いろいろなお子さんがいて本当にたいへんだと思うが、よろしくお願いします。 ・委員の意見もしっかり読み、今後の方向性を出されているので安心。期待している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大口町として今回の評価を受けて、どのように評価しているのか？今後、どうしていくのか？例えば、更に民間を推進していくのか？町としての評価の公表をしていくのか？また、するのであればどのような形にしていくのか？
福祉子ども課長	<ul style="list-style-type: none"> ・大口中保育園の評価に関しては、一生懸命取り組んでいることを評価いただけたと捉えている。公立、私立は違っても、大口の子どもをみるという点では同心円で考えている。それぞれの色の出し方に違いはあっても、大口の子ども見るという視点はぶれないように連携をとっている。今の状況で、互いに切磋琢磨するという理念で子どもを育てていくのは大事なことだと思っている。今後も変わらない方向で切磋琢磨していく。
保育長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容についても、お互いの良いところ、目指すところがあるが、いろいろな評価、意見を聞きながら共に刺激をし合って、大口町の保育をより高め

福祉子ども課長	<p>ていきたいと考えている。評価を参考に、大口町の子どものために共有できる場所は共有し、刺激し合って共に伸びていけるように頑張りたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・公表については、公立は毎年議会に報告し評価をいただいている。5年を区切りとして、結果は公表しなくてはと考えている。公表の仕方については議会へ諮り、ホームページでも公表していく。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。 <p>閉会の挨拶</p>
---------	---